

心をつなぐリレー選手

山形県 西小学校

6年 豊嶋 優奈

私の住んでいる地域では、地域の人々が安心してくらするように、さまざまな役割分担がある。その中の役割の一つに、「環境衛生部」がある。環境衛生部の仕事の一つに、月山公園の草取りや毎月第一日曜日の廃品回収があり、うちがその環境衛生部の担当になった。私と妹は、環境衛生部の仕事の日についていくことにした。

第一日曜日の朝6時半に起き、会館に集まった。とてもねむかったが、地域の人たちが公園に集まり、公園の草取りをしていた。私はそれを見てびっくりした。私たちがいつも遊んでいる公園が、たくさんの地域の人たちからきれいにしてもらっていたのだ。私もいっしょに草取りをすることにした。

私が草取りをしていると、

「朝からえらいね。」

と声をかけられた。私はうれしい気持ちと、少し照れくさい感じと、少しもうしわけない気持ちになった。いつも遊んでいる公園が、遊んでいる私たちではなく、それを見守ってくれている地域の人たちがきれいにしてくれていたのだ。

私は今までそれを知らずに遊んでいて、はずかしい気持ちになった。私は少しでも公園がきれいになるように、がんばって草取りをした。公園のそうじは毎月あるので、暑い日も寒い日もある。でも私はがんばった。私に声をかけてくれる地域の人も増えていった。

私を知ってくれる人が増えていくのがうれしくて、毎回行くのが楽しみになっていった。寒い日や暑い日は、

「大変だから会館の中に入ってたら。」

と言ってくれる人もいた。私のことを思ってやさしい言葉をかけてくれる人がいて、とても親切でやさしいなと思い、うれしくなった。

私は、「もう少しがんばれるのにな」という気持ちもあったが、地域の人々の言葉にあまえてしまい、会館で待っていることがあった。「もう少しがんばれる」と言えなかった。地域の人々が私を心配して言ってくれたことを、ことわれなかったのだ。なんだかモヤモヤした気持ちになった。

次は最後まで草取りをがんばろう、と行って行くのだけれど、いつも地域の人々の言葉にあまえてしまう。どうして「最後までやりたい」と言えないのだろう。私は考えた。やっぱり、私はうれしかったのだと思う。草取りを通してできた地域の人たちとのつながりが、私のなによりも宝物になった。

これからも地域の人との活動に積極的に参加して、みんなの住む地域を元気にしたいと思う。地域の人とのつながりが心をつなぎ、心のつながりが地域の安心と豊かさにつながると思う。

そして、私も地域の人に声をかけ、心をつなぐリレーの選手のようになっていきたい。